



特集

障がい者雇用と育成の 取り組み

超少子高齢化時代を迎え日本の総人口は減少に転じ、近い将来には団塊・団塊ジュニア世代の高齢化、引退によって地域社会の担い手（現役世代）不足が課題になってきます。並行して一億総活躍社会をめざし、あらゆる環境の人たちが地域で活躍することが期待されています。

障がい者の働く力、生活する力を育成し、企業には障がい者雇用のノウハウを提供・共有することで継続的かつ効果的な就労を支援し、地域で暮らす高齢者の栄養不足や孤立を防止し、コミュニティの再活性化を図る、高齢者、障がい者、企業が少しずつ支え合って展開していく地域のチャレンジを紹介します。

企画 ● 「地域リハビリテーション」編集室